

「がん妊孕性温存治療」をご存じですか？

これからがん治療を行う患者さんやその両親から、「がん治療しても子供は持てますよね？」と聞かれたら、あなたは答えられるでしょうか？小児や40歳未満の若い世代（小児・AYA世代）に発症したがんが、治療の進歩で治るようになってきました。ところが、命と引き換えにがん治療後に妊娠する能力（妊孕性：にんようせい）が無くなる場合があります。そのような患者さんの妊孕性を温存する治療があることをご存知でしょうか。がん治療医や医療関係者がその存在を知ることがまず第一歩です。

開催日時 2022 年

参加
無料

1月11日(火)

17:30 ~ 約1時間 (予定)

受講対象

佐賀県（医療圏）の医療機関に勤務する医療従事者
特にがん治療に携わる医療職

プログラム

司会： さが・がんと生殖医療のネットワーク世話人
佐賀大学医学部附属病院 産科婦人科 中尾佳史

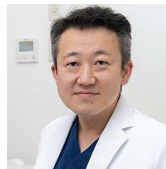
オンデマンド配信

2022 年
1/13 ~ 2/13
(木) (日)

あいさつ 佐賀大学医学部附属病院 荒金尚子 がんセンター長

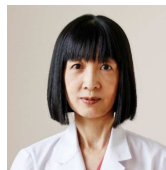
1. がん妊孕性温存治療の概要 17:30~17:45

医療法人永世会 谷口眼科婦人科院長
生殖医療専門医 谷口 憲先生



2. がん妊孕性温存治療の実際 17:45~18:00

医療法人社団高邦会 高木病院副院長
生殖医療専門医 小島加代子先生



3. 小児・AYA世代がん患者等支援事業の紹介
18:00~18:15

佐賀県健康福祉部健康増進課
がん撲滅特別対策室 落合康宣 様



4. 質疑応答 18:15~

あいさつ さが・がんと生殖医療のネットワーク世話人 中尾佳史

- 当日参加申し込みされた方は、登録の必要はありません。上記期間中に申し込みサイトから登録されたメールアドレスを入力すると視聴ボタンが表示されます。
- オンデマンド視聴のみ、登録が必要です。

主催

佐賀大学医学部附属病院がんセンター
さが・がんと生殖医療のネットワーク

共催

佐賀県健康福祉部健康増進課
がん撲滅特別対策室

会場 佐賀大学医学部臨床小講堂（3114）※学外の方はオンラインのみです。

申込方法

・下記サイトで申し込みしていただくと、前日に招待メールが届きます。
https://mercury.med.saga-u.ac.jp/seminar/?seminar_id=7

申込期間：2021/11/15（月）～2022/1/6木）



・事前質問を受け付けます。詳しくは、裏面へ

(参加申し込みの流れ)

- ① 研修会案内サイトにアクセスし、自分のメールアドレスを入力して「送信」をクリック
- ② 申し込みサイトへのリンクが記載された「メール1」が届くので、メール内のリンクをクリック
- ③ 申込フォームが表示されたら、必要事項を入力し、「申し込む」ボタンをクリック
- ④ 申込完了「メール2」が届きます。以上で申込は完了です。

参加申込はこちらから ①

下のメールアドレス欄に追加される方のメールアドレスを入力し、送信ボタンをクリックして下さい。
参加申込用サイトへのリンクが記載されたメールが届きますので、メール内のリンクをクリックして必要な事項を入力の上参加申込を行って下さい。

メールアドレス (メールアドレスについての注意事項)

参加される方のメールアドレス

送信

申込内容の確認や取消も上記でメールを送信して下さい。

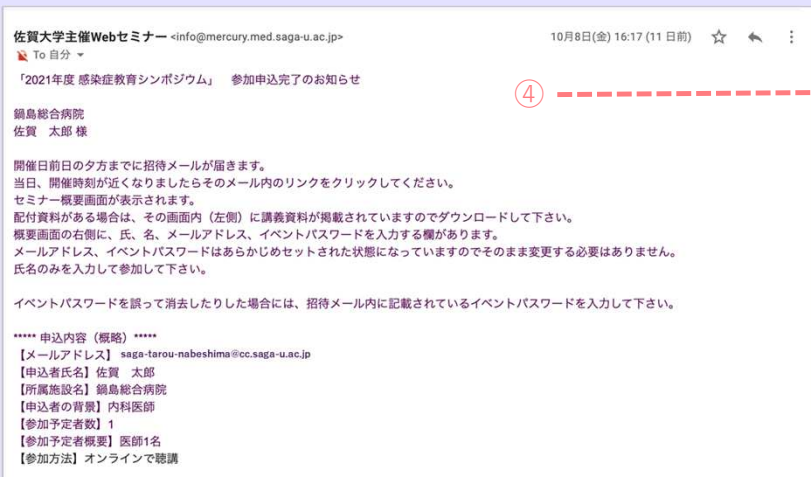
申込方法説明書

メール1



申込フォーム

メール2



(事前質問について)

申込フォーム「講師への質問」に質問したい講師名と内容を記入してください。

事前質問の受付期間
2021/11/15 (月) ~ 2022/1/6 (木)
(参加申し込み期間と同じです。)

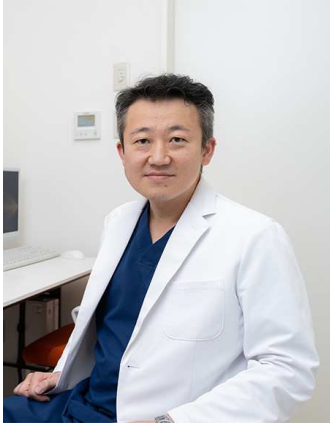
(参加方法：当日)

招待メール



開催日の前日までに「招待メール」が届きます。メール内の「資料を取得する・イベントに参加する」と書かれたリンクをクリックします。webexのイベント概要画面が表示されますので、氏名、メールアドレス等を入力し「ブラウザで参加」をクリックして下さい。

谷口 憲 医師



医療法人永世会 谷口眼科婦人科 院長

略歴

- ・2003年 山口大学医学部医学科卒業
- ・2011年 山口大学大学院 医学博士学位取得
- ・2013年 長崎大学病院 産婦人科 助教
- ・2017年 長崎大学病院 産婦人科 講師
- ・2018年 医療法人永世会 谷口眼科婦人科 院長

専門医・認定医

- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医・指導医
- ・日本専門医機構 産婦人科専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本卵子学会 生殖補助医療胚培養士

役職

- ・日本臨床エンブリオロジスト学会 理事
- ・日本卵子学会 代議員
- ・日本産婦人科医会 医業推進委員会委員

専門

- ・生殖医療
- ・女性医学

・長崎大学病院では婦人科病棟医長を務め、生殖外来、内視鏡外来、内分泌外来と3つの専門外来を担当した。また、長崎大学病院でのがん生殖医療の立ち上げに関与した。

・現在、厚生労働科学研究補助金（がん政策研究事業）「小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を施行した研究—患者本位のがん医療の実現を目指して」研究⑤-2「生殖臓器の長期保存技術・情報化の統括ヘッドクォーター化支援開発：研究代表者：鈴木直（聖マリアンナ医科大学産婦人科学）」の研究協力者として参画している。

NCC長崎文化放送の
「グッジョブ！」で
当院が紹介されました！

 **YouTube**で
動画が閲覧できます！



小島加代子 医師



医療法人社団 高邦会 高木病院

- ・ 副院長
 - ・ リプロダクションセンター長
 - ・ 福岡シミュレーション医学センター長
- 佐賀大学医学部 臨床教授
国際医療福祉大学 大学院 教授

専門医・認定医

- * 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 ・ 産婦人科指導医
- * 日本生殖医学会 生殖医療専門医

専門

- * 体外受精・顕微授精などの生殖補助医療

九州初

PRPによる 不妊治療が始まりました

高木病院不妊センター

質の高い不妊治療、全国平均を上回る高い実績

高木病院(福岡県大川市)では、2016年9月から新型培養器「エンブリオスコープ™」を導入。2019年11月から難治性不妊に対するPRP療法を開始。さらなる妊娠率UPが期待できます。また、患者様の通院の負担軽減のために自己注射タイプの排卵誘発剤を採用しております。

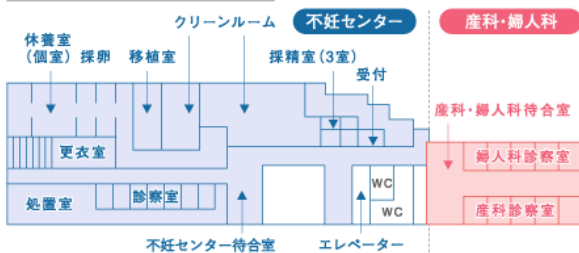


高い専門的知識と
高い技術をもったスタッフが
あなたの願いをかなえる
お手伝いをします

プライバシーが守られた不妊センター施設

5階の産婦人科フロアの3分の2を不妊センター専用スペースとし、待合室を産婦人科と別に設けています。プライバシーが守られるように全て個室で構成されており、個別のカウンSELINGも行っています。

不妊センターフロアガイド



- 待合室の独立
- 個室の診察室
- 個室の採卵移植休養室

【高木病院 施設認定】

◆ 生殖医療専門医制度認定研修施設

生殖医療専門医：小島加代子、野見山真理、有馬薫

◆ 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医：野見山真理（子宮鏡）、有馬薫（腹腔鏡・子宮鏡）

不妊センター 予約専用ダイヤルイン

TEL/0944-87-0068(予約制です)

10:00~12:00 14:00~16:00

(第1・3・5土曜、毎週日曜は除く)